

ビデオセッション 3

「大腸腫瘍の内視鏡診断および治療における工夫」

司会 田中 信治 (JA 尾道総合病院)

齋藤 豊 (国立がん研究センター中央病院内視鏡科)

拡大内視鏡 (pit pattern, IEE) に加え最近では AI 診断や超拡大内視鏡も普及し、鋸歯状病変の診断もトピックの一つである。内視鏡治療に関しては、EMR/ESD に加え、Cold polypectomy や Under water EMR など普及し、質的診断から治療法選択まで瞬時に判断が必要な時代となった。また、大腸癌研究会のプロジェクト研究でリンパ節転移予測ノモグラムが提唱され、内視鏡治療の適応やその深達度診断に新たな展開が予想される。本セッションでは、そのコツや工夫についてビデオで呈示頂きたい。